
中国大会県内開催専門部説明用資料

1.	中国大会確認事項	P1
2.	中国・県大会事業後の報告に関して	P2
3.	中国大会様式(鳥取県共通様式)	
	①様式1号 中国大会実施計画及び報告書	P3
	②様式2号 中国大会予算・決算書	P4
	③様式3号 大会成績用紙(共通様式)	P5
	④収支説明	P6
	⑤大会成績記載例(様式3号説明)	P7
4.	プログラム協賛差込方法	P8

中国大会（県内開催）確認事項

	中 国 選 手 権 大 会	中 国 新 人 （ 選 抜 大 会 ）
大 会 負 担 金	大会負担金値上げ(平成23年度から中国ブロックで実施) ※上限を団体25,000円、個人2,500円とした。 ポイント ①競技団体助成金・寄付金・開催県専門部積立金等に頼らない大会運営を行う →受益者負担の考え方 ②経費削減 →役員Tシャツ・ポロシャツ等で多額の出費は認めない(中国高体連の考え) ③各競技の大会負担金設定は、上限として取り扱う →鳥取県は施設使用料が減免になる。他県より安い大会負担金でも問題ない	
開 催 前 年 度	前年度9月末までに、実施要項(案)、実施計画報告書(中国大会・鳥取県共通様式) 予算決算書(中国大会・鳥取県共通様式、内訳も記載)を事務局に提出	
要 項 (案) 作 成	中国高体連HP参照(役員表等)	
予 算 案 作 成	予算作り原則 ①支出総額を概算で算出 ②役員等のポロシャツ・Tシャツ等経費削減のため購入しない。 ③支出総額に合わせ、収入の算出を行う(大会負担金減額も含め) ④収支は0円であるが、多少プラスで大会運営できるように支出額に上乗せしておく。	
大会プログラム	5部を事務局へ送付	
補 助 金	県補助金(140,000円) 中国高体連分担金(20,000円) 各県高体連分担金(100,000円) ※水泳と自転車は200,000円	中国高体連分担金(20,000円)H25年度～各県専門部分担金を徴収する専門部あり
大 会 収 支 処 理	0円 ○残金で消耗品購入により収支0円 ○競技団体助成金返金により収支0円 等 高体連事務局と協議し精算を行う (事前に連絡を)	残金は専門部通帳へ(ただし、多額は問題)
	※多額の残金の場合は、大会負担金返金が大原則	
会 計 調 書	会計調書原本を事務局へ提出 ※大会事業精算前に専門部会計(データ)送付 ※事務局確認後、調書作成 ※一括印刷による表紙から大会精算調書まで全てを送付	会計調書原本の事務局提出は不要 ※確認のため専門部会計(データ)の送付をお奨めします。
大 会 報 告	中国大会様式(鳥取県共通様式)3号(大会結果報告書)→大会終了後直ちに県事務局へ 中国大会様式(鳥取県共通様式)1号(実施計画報告書)→決算書作成時に同時に県事務局へ 中国大会様式(鳥取県共通様式)2号(予算決算書)→内訳も記載し精算後直ちに県事務局へ	
報 告 先	開催県専門部は、①県高体連事務局②中国高体連事務局③中国専門部代表へ報告	

中国・県大会事業後、報告に関して

鳥取県高等学校体育連盟

2013年4月実施(H29. 4月改訂)

1. 県総体

大会中	①大会結果詳細(広報担当者が各会場を一括し、毎日事務局へメール又はFAXにて報告)
	②大会最終日は大会結果報告書(共通様式)(専門部様式第3号)を必ずメール送付(FAX不可)
大会後	①会計ソフト入力後、専門部会計データと通帳コピーを確認のため事務局へメール提出(確認後調書作成)
	②会計ソフト一括印刷により印刷された一式 → 会計責任者が提出 (表紙にて確認 大会計画報告書及び通帳コピーは別途用意すること) ※原則1週間(遅くとも1ヶ月以内)に専門部長の決裁を受け高体連事務局へ必要書類(原本)を提出。 ※専門委員長代決の場合は、専門部長に確認後、専門委員長押印下に【代】と記載。
	③実施計画報告書(専門部様式第2号)及び予算決算書をメール送付(決算書は内訳も記入)
	④大会負担金を高体連事務局へ入金、県総体大会負担金徴収一覧・領収書(専門部会計様式第10号)メール送付
	⑤会場別傷病報告書・大会事故報告書は、必要に応じて提出
	⑥全国総体出場状況調査(全国総体様式第1号)をメール送付 → 専門委員長が提出 ※平成25年度より内容を全国高体連と同様とした

2. 中国選手権大会(県内開催)

大会後	①大会終了後、速やかに大会結果報告書(共通様式)(専門部様式第3号)中国大会様式鳥取県版を送付 ※できれば大会最終日 → 中国高体連へ報告するため ※詳細は必要なし
	②会計ソフト入力後、専門部会計データと通帳コピーを確認のため事務局へメール提出(確認後調書作成)
	③会計ソフト一括印刷により印刷された一式 → 会計責任者が提出 (表紙にて確認 大会計画報告書及び通帳コピーは別途用意すること) ※原則1週間(遅くとも1ヶ月以内)に専門部長の決裁を受け高体連事務局へ必要書類(原本)を提出。 ※専門委員長代決の場合は、専門部長に確認後、専門委員長押印下に【代】と記載。
	④実施計画報告書(専門部様式第2号)及び予算決算書をメール送付(決算書は内訳も記入)
	⑤会場別傷病報告書・大会事故報告書は、必要に応じて提出

3. 県総体以外県内大会

大会後	①大会終了後速やかに大会結果報告書(共通様式)(専門部様式第3号)を必ず送付 → HP掲載のため
	②会計ソフト入力後、専門部会計データと通帳コピーを確認のため事務局へメール提出(確認後調書作成)→調書の事務局提出は無し
	③大会謝金報告書(非課税対象用)をメール送付
	④会場別傷病報告書・大会事故報告書は、必要に応じて提出

4. 中国新人(選抜)大会(県内開催)

大会後	①大会終了後、速やかに大会結果報告書(共通様式)(専門部様式第3号)中国大会様式鳥取県版を送付 ※できれば大会最終日 → 中国高体連へ報告するため ※詳細は必要なし
	②会計ソフト入力後、専門部会計データと通帳コピーを確認のため事務局へメール提出(確認後調書作成)→調書の事務局提出は無し
	③実施計画報告書(専門部様式第2号)及び予算決算書をメール送付(決算書は内訳も記入)
	④大会謝金報告書(非課税対象用)をメール送付
	⑤会場別傷病報告書・大会事故報告書は、必要に応じて提出

県高体連HP <https://www.tottori-koutairen.jp/>

年度中国大会実施計画及び報告書

大会名	
開催県	鳥取県
競技名	

		大 会 実 施 計 画				大 会 実 施 報 告			
主 催									
共 催									
大 会 期 日									
会 場									
参 加 校 数	男 子	女 子	計		男 子	女 子	計		
			0				0		
参 加 生 徒 数	男 子	女 子	計		男 子	女 子	計		
			0				0		
引 率 教 員 数									
延 べ 競 技 役 員 数		高校教員	その他	計		高校教員	その他	計	
	第 1 日			0	第 1 日			0	
	第 2 日			0	第 2 日			0	
	第 3 日			0	第 3 日			0	
				0				0	
	計	0	0	0	計	0	0	0	
補 役 員 助 数	第 1 日				第 1 日				
	第 2 日				第 2 日				
	第 3 日				第 3 日				
	計	0			計	0			
競 技 役 員 員 数 ・ 補 助 役 員 ・ 総 数	0				0				
今 年 度 の 反 省 事 項 (会 場 ・ 運 営 等)									
次 年 度 の 要 望 事 項 (運 営 ・ 予 算 等)									

年度中国大会予算・決算書

大 会 名	
開 催 県	鳥 取 県
競 技 名	

	科 目	予 算	決 算	比較増△減	内 訳
収 入	中国高体連分担金			0	
	各県高体連分担金			0	
	各県専門部分分担金			0	
	開催県高体連補助金			0	
	県 補 助 金			0	
	市町村補助金・助成金			0	
	競技団体助成金			0	
	大 会 負 担 金			0	
	協 賛 金			0	
	開催県専門部負担金			0	不足金補填分（上記各県専門部分分担金は除く）
	そ の 他			0	
	合 計 （ A ）	0	0	0	
支 出	褒 賞 費			0	
	旅 費			0	
	諸 謝 金			0	
	消 耗 品 費			0	
	印 刷 製 本 費			0	
	通 信 運 搬 費			0	
	借 損 費			0	
	会 議 費			0	
	食 糧 費			0	
	そ の 他			0	
	合 計 （ B ）	0	0	0	
収 支		(A)	—	(B)	収 支 額
		0	—	0	0

年度 大会成績用紙(共通様式)

開 催 県	鳥 取 県
競 技 名	
大 会 名	

種 目		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
学校対抗	男								
	女								
男子個人									
女子個人									

※ 全国・中国大会出場チーム・個人は赤字・太字・囲み等、分かるように記載すること
※ 勝ち上がり等、大会結果の詳細に関しては、各専門部での様式で提出をお願いします。

中国大会事業収支説明一覧表

中国高体連

	科 目	説 明
収 入	中国高体連分担金	中国選手権大会開催時に中国高体連からの補助金（20,000円）
	各県高体連分担金	中国選手権大会開催時に各県高体連からの補助金（20,000円×5県＝100,000円） ※水泳・自転車は各県40,000円
	各県専門部分担金	中国選手権大会・中国新人（選抜）大会開催時の各県専門部分担金
	県補助金	中国選手権大会開催時の県補助金
	市町村等補助金・助成金	開催地市町村及び開催地関連団体からの補助金・助成金
	競技団体助成金	競技団体からの大会運営費補助
	大会負担金	団体上限（25,000円）個人上限（2,500円）
	協賛金	大会事業協賛金
	開催県専門部負担金	開催県専門部が負担する大会運営費（上記各県専門部分担金は含まない）
	その他	プログラム収入等、上記以外の収入

科目は以下に統一し、支給基準（金額）は各県高体連規定に準ずる

支 出	褒賞費	○レプリカ・入賞メダル作成費用 ○賞状作成費は、褒賞費で計上する
	旅費	役員・審判員等の旅費 ※出張による高体連関係者には支給しない ※選手の旅費は支給しない ※遠距離の補助役員旅費 ※義務免（職免）及び義務免扱い以外の役員は自宅が起点
	諸謝金	○医師・看護師・プラスバンド・アナウンス等協力者に対する謝金 ○審判員等に対する謝金（出張による高体連関係者には支給しない）
	消耗品費	○事務用品・諸帳簿・薬品費・プラカード・看板・大会用印鑑・競技用消耗品（ボール等）・役員リボン・フィルム・コピー用紙等、 ○収入印紙代・損害保険料・治療代・見舞金・記録写真代・アルバム代・器具機械の修繕費 ○その他、短日時に消耗しないがその性質が長期使用に適さないもの及び器具・機械として整理しがたいもの（備品は含まない）
	印刷製本費	プログラム・ポスター・申込書類・地図招待状等の印刷代及び製本費用。 書類・伝票帳簿等の制作費用
	通信運搬費	郵便代・電信料・電話料・電話仮設料・運送費（借上料は含まない）
	借損費	会場使用料・会場設備使用料・土地建物の借料・器具機械の借料及び損料・車バス借上料
	会議費	実行委員会・代表者会議・監督会議・お茶代
	食糧費	大会期間中、競技関係者及び補助役員に配布する食糧の代価
	その他	振込手数料（通信運搬費で計上しない）

中国大会・鳥取県大会成績用紙(共通様式)記載例

＜中国大会記載例＞

競技種目	種 目		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
(例)陸上	学校対抗	男	〇〇工業(岡)	←学校名(県名)						
		女	〇〇商業(広)							
	男子個人	100m	②鈴木太郎(〇〇商業)	←丸文字は学年、名前はフルネーム、括弧内は学校名						
		200m	③佐藤二郎(〇〇工業)							
		4×100mR	〇〇東(島)	←リレーは学校名、括弧内は県名						
		やり投	②清水三郎(〇〇西)							
	女子個人	400M	③田中花子(〇〇南)							
		800M	②山田和子(〇〇北)							
		4×400mR	〇〇西(山)							
		円 盤 投	①伊藤佳子(市立〇〇)							
(例)ボート	男 子	シングルスカル	②山本太郎(〇〇商業)	←丸文字は学年、名前はフルネーム、括弧内は学校名						
		ダブルスカル	③西村二郎・②原三郎(〇〇工業)							
		舵付きフォア	〇〇西(島)	←学校名、括弧内は県名						
(例)ラグビー	Aブロック		〇〇工業(島)	←学校名(県名)						
	Bブロック		〇〇南(広)							
	Cブロック		〇〇北(山)							
(例)テニス	団 体	男	〇〇商業(島)		ベスト4を記載(ベスト4と明記)		ベスト8を記載(ベスト8と明記)			
		女	〇〇東(岡)		〃		〃			
	シングルス	男	③井上亮輔(〇〇実業)		〃		〃			
		女	②中村花子(〇〇商業)		〃		〃			
	ダブルス	男	①田村一郎・②坂本芳雄(〇〇北)		〃		〃			
		女	②木村美子・③原光子(市立〇〇)		〃		〃			

- 1 各競技種目とも8位までを記載する。ベスト4の場合は、3位・4位の欄に記載しわかるように明記する。ベスト8の場合は5位から8位までの欄に記載し、わかるように明記する。
- 2 学校対抗・団体の場合は学校名を記載し括弧内に県名の略号を入れる。
- 3 個人の場合は、丸数字で学年を入れ名前(名字のみ)を記載し、括弧内に学校名を入れる。(県立、市立を両方ある場合は明記する)
- 4 オープン種目の場合は明記する。
- 5 スペースが狭く記載しにくい場合は、拡大コピーを行い使用してください。

＜鳥取県大会記載例＞

競技種目	種 目		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
(例)陸上	学校対抗	男	〇〇工業	←学校名						
		女	〇〇商業							
	男子個人	100m	②鈴木太郎(〇〇商業)	←丸文字は学年、名前はフルネーム、括弧内は学校名						
		200m	③佐藤二郎(〇〇工業)							
		4×100mR	〇〇東(島)	←リレーは学校名						
		やり投	②清水三郎(〇〇西)							
	女子個人	400M	③田中花子(〇〇南)							
		800M	②山田和子(〇〇北)							
		4×400mR	〇〇西							
		円 盤 投	①伊藤佳子(市立〇〇)							
(例)ボート	男 子	シングルスカル	②山本太郎(〇〇商業)	←丸文字は学年、名前はフルネーム、括弧内は学校名						
		ダブルスカル	③西村二郎・②原三郎(〇〇工業)							
		舵付きフォア	〇〇西	←学校名						
(例)ラグビー	Aブロック		〇〇工業	←学校名						
	Bブロック		〇〇南							
	Cブロック		〇〇北							
(例)テニス	団 体	男	〇〇商業		ベスト4を記載(ベスト4と明記)		ベスト8を記載(ベスト8と明記)			
		女	〇〇東		〃		〃			
	シングルス	男	③井上亮輔(〇〇実業)		〃		〃			
		女	②中村花子(〇〇商業)		〃		〃			
	ダブルス	男	①田村一郎・②坂本芳雄(〇〇北)		〃		〃			
		女	②木村美子・③原光子(市立〇〇)		〃		〃			

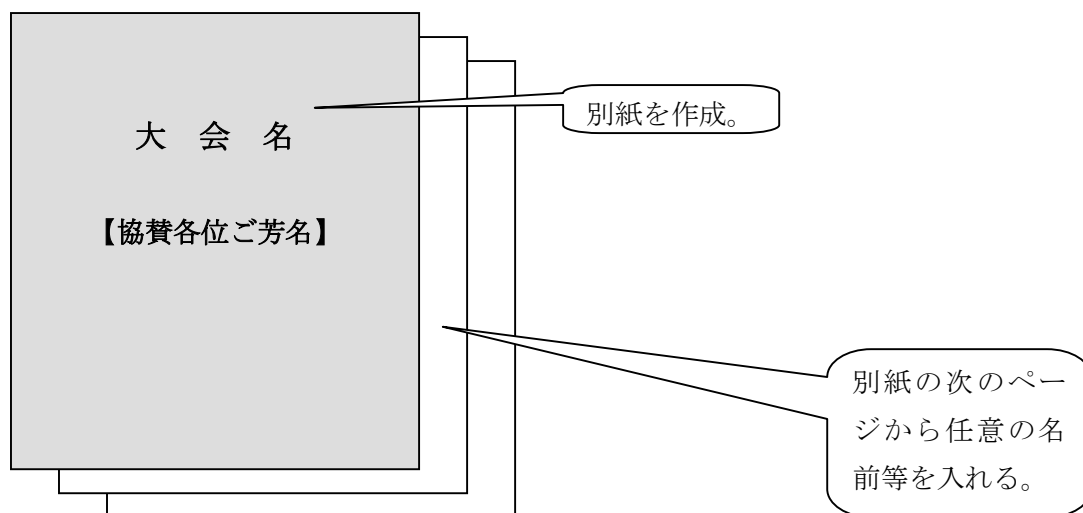
- 1 上記中国大会記載例に準じて記載してください。
- 2 全国・中国大会出場チーム・個人は赤字・太字・囲み等、分かるように記載すること。
- 3 勝ち上がり等、大会結果の詳細に関しては、各専門部での様式で提出をお願いします。

プログラム作成などにおける留意点

(1) 広告について

【協賛各位ご芳名】という別紙を作成し、プログラムに挿む。名前の出し方については、個人・団体・企業に任せる。

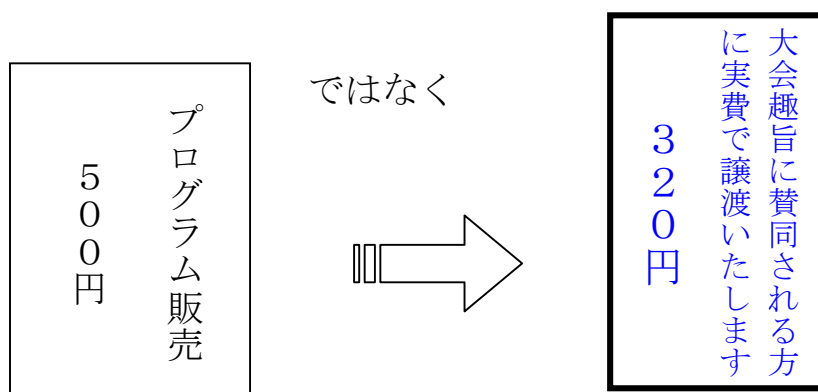
【記載例】



(2) プログラム販売について

販売ではなく「実費譲渡」として次のような張り紙をして、協賛者に譲渡する。

【別紙1】の場合



【別紙2】の場合

